

学力テストで学級閉鎖が一日遅れた？

県内7自治体 番号方式

四月二四日（火）、市内の小

学校一〇一校、中学校五七校で
全国学力・学習状況調査が実施
されました。全国一斉学力テス
ト実施前から小学校の氏名の記
入について個人情報保護の観点
から問題があることを指摘しま
した。埼玉県内では、氏名記入
ではなく、番号方式で実施した
教育委員会は、行田市・久喜市・
蓮田市・八潮市・春日部市・と
きがわ町・白岡町の七自治体と
なりました。全国では二三七自
治体（全体の二・四％）が番
号方式を採用し、また参加した
公立小学校の約二四％が番号方
式で実施しました。

全国一斉学力テスト実施を前
にした二〇日、新日本婦人の会
の埼玉県本部と浦和・大宮・与
野二支部の代表が藤岡教育長に
全国一斉学力テスト問題で要請
をしました。席上、教育長は
「個人的には名前を書かないほ
うが良いと思う。しかし、いま
から（二〇日）変えるのは無理
だ」と語りました。文部科学省
の「なんとしても記名で」とい
う姿勢が、教育委員会に圧力と
なりましたが、市教委の英断があつたな
らばこの思いは強く残ります。

わたしたちは、自治体独自
テストを実施している東京都、
都内各区、広島市等の報告から
多くの題点を耳にしています。
そして全国一斉学力テストがも
たらす問題を訴えてきました。

学力テストで学級閉鎖 一日先延ばしはか？

北区のある小学校でテスト前
日の二三日、六年のクラスで、
一二名の欠席が出ました。うち
四名がインフルエンザでした。

この学校は二七日には離任式が
あり、学級閉鎖をするにしても
二七日には全校児童の出席を考
えて学級閉鎖を決めなければな
らない状況でした。教頭先生は
全国一斉学力テストを所管する
市立教育研究所の担当指導主事
に連絡しました。担当者の返事
は「可能であれば（学力テスト
を）受けて欲しい」「最終的に
は校長先生の判断です」という
ものでした。その結果、全国一
斉学力テストを受けさせ、次の
日の二五日から二日間の学級閉
鎖となりました。
相談を受けた市教委はなぜ児
童の健康と学校行事を尊重する
対応をしなかったのでしょうか。
文科省の圧力に負けたのでしょうか
えない対応です。



さいたま市教組新聞

さいたま市
教職員組合
TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail saitama@
kyouiku-net.org
URL http://www2.
plala.or.jp/saitama-
sikyouso/
2007.5.2(水)
No.119

初任研で年間一〇〇本の指導案

埼玉教組とさいたま市教組
は初任者研修の実態を把握
し、問題点を改善すべくア
ンケートを行いました。三
一人の初任者の方から回答
がありました。

教員については、さいた
ま市と埼玉県は別々に初任
研を計画し、実施していま
す。養護教諭については県

教委が行う初任研に出てい
ます。

市の初任研は要綱で年間
計画が定められています。
しかし、学校によって学校
研修の負担に大きな差があ
ることが明らかになりました
た。授業の略案を含む指導
案を年間一〇〇本書いてい
る学校があります。

トの提出を求められている
学校があります。機関研修
のレポート等です。
初任者は一日八時間、週
四〇時間という学校職員の
勤務条件のもとで働いてい
ます。また、労働安全衛生
法に基づいた健康管理に配
慮がなされなければなりま
せん。勤務時間やメンタル
面を含めた健康管理は管理
職の責務として当然の配慮
事項です。

大事な行事と重な る機関研修

給食の開始日と重なる、
始業式翌日、学級懇談会と
年一回も重なる等、学級の
子どもを把握しクラスをま
とめる大事な時期に機関研
修があり、市教委や管理職
が言う「父母の信頼を得る」
「子どもを把握する」「落
ち着いたクラスづくりをす
る」機会を奪っています。

さいたま市教組のブログを開設しました。
携帯電話からもご覧になれます。一度試してみてください。
<http://pub.ne.jp/saitama6763/>

あなたも 埼玉教組に 入りませんか
職場の組合員に渡していただき
またはFAXで事務所へ。
学校名（ ） 職名（ ）
（氏名）（ ） 小・中・養護学校（ ）

第7回市教組定期大会

日時：5月19日（土）受付 13:15
開会 13:30
場所：さいたま市立桜木小学校体育館
車の駐車はできません。近くの有料駐車場を利用し
てください。一部補助します。

「君が代」斉唱は
良心の自由侵害
機関研修では開講式等、
年間三回の「君が代」斉
唱をしています。初任者の
思想・良心の自由を侵害す
るものです。また服装は常
識的なものであれば十分で
す。スーツの着用を押しつ
けたりするのは早く止める
べきです。